



学校便り

平成22年11月18日
広島市立広瀬小学校
校長 中田 浩志

「学校へ行こう週間」を終えて

1日（月）から6日（土）までの6日間、広瀬小学校では、「学校へ行こう週間」を実施しました。この期間中、クラブ活動参観、平日はなかなか学校へ来にくい方のための土曜参観日を実施しました。PTA主催の広瀬小学校ふれあいバザーも盛況のうちに終えることができました。

広瀬小学校では、できるだけ学校を開放し、気軽に学校へ来ていただき、子どもたちが頑張っている様子を見ていただきたいと思います。子どもは、認め褒めることで成長します。これからもぜひ学校へお越しくださるようお願いいたします。

【土曜日の参観者から】

- ・ひとりひとりを生かす暖かみのある授業で、たのしく思いました。教室の掲示も重点が示され、効果があがっている。
- ・だいぶ授業内容が難しくなってきました。でも、みんな集中して聞いていたと思います。
- ・学級経営に細心の注意が払われています。活気のある授業、先生はゆとりを持って児童に考えさせることに留意されている。
- ・授業が大変わかりやすく、字も読みやすかったです。子どもの様子がよくわかりました。
- ・よくみんなにゆき届く授業で、感心しました。

※広瀬ふれあいバザーの様子



全校で、自主勉強ノートに取り組む

11月より、全校で自主勉強ノートに取り組んでいます。全校児童のノートを地域の方に買っていただきました。宿題はこれまで通り各学年出していますが、自ら進んで、漢字や計算、理科、社会などの勉強に取り組んでいます。1冊終わると校長室に持って行きます。

この取り組みを通して、子どもたちが、進んで学習できるようになればと願っています。



クラブ参観

11月4日のクラブ活動の日に、クラブ参観を行いました。学校へ行こう週間でもあったので、保護者の方だけでなく、地域の方にも参観していただきました。日頃、なかなか見ていただくことのできないクラブですので、子ども達も張り切って活動していました。



※お詫びと訂正

学校便り10月25日号の12月の予定で、15日 参観懇談・教育相談（4～6年）は、17日（金）の誤りです。お詫びし訂正いたします。